

事項	名古屋市植田寮の改築移転及び完成式について
事項内容	1 概要 隣接地への改築移転工事を進めてきた名古屋市植田寮が完成し、11月より供用を開始する。また、これに伴い、完成式を開催する。 2 施設の概要 (1) 施設種別 生活保護法に基づく救護施設（障害等により日常生活を営むことが困難な方に生活の援助を行う入所施設） (2) 所在地 名古屋市天白区植田山二丁目101 (3) 構造 鉄筋コンクリート造3階建 (4) 延床面積 6,396.62㎡ (5) 定員 200人（居室はすべて単身用個室） (6) その他 改築移転にあわせて厚生院救護施設と現在の植田寮（救護施設、更生施設）の機能を統合 3 完成式 (1) 日時 令和6年11月4日（祝・月）10時30分から (2) 場所 名古屋市植田寮内 (3) その他 式典に引き続き内覧を実施。また、福祉関係者等及び地元住民向けの内覧会を同日午後に実施。
備考	本件は、本日、市政記者クラブへ資料提供します。

救護施設

名古屋市 植田寮

ご案内



施設概要

植田寮は、生活保護法に基づく救護施設です。施設を利用する方への生活の援助、心と身体のケア、日々の生活の楽しみの見つけ方など、一人ひとりに寄り添った支援を通して、地域生活移行など、それぞれの自立に向けた働きかけをしています。

- ・入所定員 200名（性別問わず）
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造3階建て
- ・居室数 200 室（1 室あたりの居室面積：8.25 m²、すべて単身用個室 1 階：63 室、2 階：68 室、3 階：69 室）
- ・施設設備 食堂 3 か所、浴室 5 か所、トイレ 17 か所など

職員構成

施設長、事務員、指導員、介護職員、看護師、栄養士、医師、介助員、理学療法士等

植田寮沿革

植田寮は昭和 21 年の開設以来、法の改正や社会情勢などに応じてその形を変化させてきました。様々な方を受け入れ、個々のニーズに寄り添った支援を展開してまいりました。

- 昭和 21 年 11 月 旧生活保護法に基づく保護施設植田寮として事業開始
- 昭和 25 年 5 月 新生活保護法の施行に伴い更生施設植田寮となる
- 昭和 32 年 8 月 緊急救護施設天白寮（後に救護施設となる）を開設
- 昭和 47 年 4 月 救護施設天白寮を統合し、更生施設と救護施設の複合施設となる
- 平成 31 年 4 月 指定管理者制度を導入し、社会福祉法人芳龍福祉会が指定管理者として管理運営を引き継ぐ
- 令和 5 年 4 月 隣接地への改築移転工事を開始
- 令和 6 年 11 月 改築後の新施設を救護施設として供用開始

施設特色

- ・居室の個室化によりプライバシーを確保
- ・回廊型の構造により効率的な見守り・介護が可能
- ・バリアフリー対応
- ・エレベーター、手すり、スロープ、バリアフリースイッチ・車椅子対応トイレの設置
- ・食堂、浴室、洗濯室を各階に設置
- ・機械浴の設置
- ・ストレッチャーや車椅子での移動が可能な居室面積の確保
- ・ナースコールの設置

年間イベント(主なもの)

4 月 花見会	10 月 運動会
5 月 新緑会	11 月 日帰りバス旅行
6 月 日帰りバス旅行	12 月 餅つき・クリスマス会
7 月 七夕会	1 月 鏡開き
8 月 盆踊り	2 月 カラオケ大会・節分豆まき
9 月 敬老会	3 月 ひな祭り



施設案内

1F



集会室

簡単な運動や施設の行事に使用します。



浴室

機械浴により、寝たきりの方でも安全に入浴できます。

居室

□…入所者居室

1 階、2 階の居室にはナースコールを設置しており、配慮が必要な入所者も安心して生活することができます。電動ベッドを設置した居室もあります。



バリアフリースイートイレ

車いす使用者やオストメイトなど様々な方が使用できるように設置しています。



中庭



静養室

ユニットシャワーを設置しており、静養室で生活が完結できます。



個浴

集団での入浴が難しい方も使用できるように設置しています。



畑

野菜を育てるなど、入所者の余暇活動に使用します。



グラウンド

2F

食堂



居室



浴室

スロープや手すりを設置しており、段差を上がることなく入浴することができます。



光庭

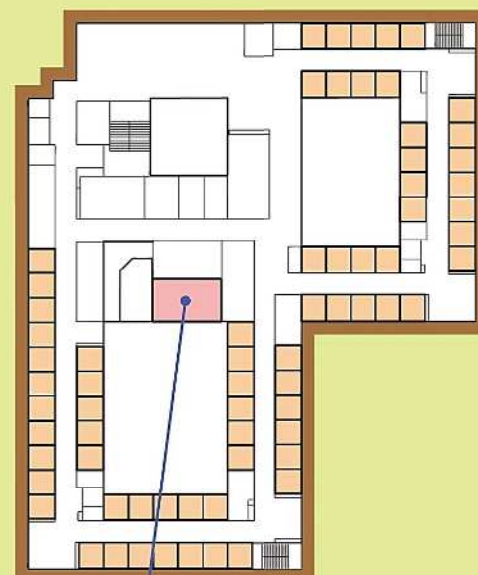
各居室に採光を確保しています。

多目的室

リハビリ訓練やクラブ活動などに使用します。



3F



浴室

一般的な大浴場になっています。各階に入所者の状態に合わせた入浴設備を整えています。

案内図



名古屋市 植田寮

〒468-0001 名古屋市天白区植田山二丁目101

TEL.052-781-0015

<公共交通機関でお越しの場合>

地下鉄鶴舞線「塩釜口」バス3番のりばから乗車、
市バス(天白巡回)「地下鉄植田(右回り)」行「植田寮」下車。北へ徒歩約2分。

地下鉄鶴舞線「植田」バス2番のりばから乗車、
市バス(幹星丘2)「星ヶ丘」行「焼山」下車。

焼山交差点より北西へ徒歩約9分。

または、同のりば市バス(天白巡回)「地下鉄植田(左回り)」行
「植田寮」下車、北へ徒歩約2分。

地下鉄名城線「八事日赤」バス1番のりばから乗車、
市バス(星丘13)「星が丘」行「植田山住宅北」下車。北へ徒歩約4分。

地下鉄東山線「星ヶ丘」バス4番のりばから乗車、
市バス(幹星丘2)「地下鉄植田」行「焼山」下車。

焼山交差点より北西へ徒歩約9分。

または、同のりば市バス(星丘13)「杵中」行「植田山住宅北」下車。
北へ徒歩約4分。

事項	実践学習型まちづくり講座Poc up スクール NAGOYA 大曽根エリアのイベントにおける、社会実験の実施について
内容	Poc upスクールNAGOYAでは、まちづくりに興味がある方が参加して、まちづくりに必要なノウハウを学び、大曽根エリアのまちづくり団体の方々と連携しながら、まちがより良くなるための活動を企画してきましたが、この度、大曽根エリアで開催されるイベント「ガジガジ・ウォーカブルシティ～歩いて楽しいクリエイティブな商店街～」において、下記のとおり社会実験を実施します。 社会実験を通じて、成功体験を得たり、改善点を見つけたりすることで、今後の継続的な活動につなげ、まちづくり活動の担い手として活躍することを期待しています。 1 イベントの概要 「ガジガジ・ウォーカブルシティ～歩いて楽しいクリエイティブな商店街～」 官民のパブリック空間を活用した実験的な取組みにより、賑わいや憩いの空間を創出することで、訪れた人がウォーカブルなまちづくりを体験できるイベント 【日時】令和6年11月10日（日） 11時から16時まで 【場所】大曽根本通商店街（オゾンアベニュー） 大曽根商店街（オズモール） 2 Poc up スクール NAGOYA が実施する社会実験の概要 (1) 「Welcome back Oh!! ZONE」 - 大曽根エリアにある様々な魅力を発掘し、外国人観光客がまた大曽根に来たくなるローカルコンテンツを、大曽根エリアでの民泊開業と併せて検討しています。 - 社会実験当日は、在住外国人を対象に、大曽根エリアの魅力のひとつであるお酒にまつわる店舗に着目し、それらのお店を回るツアーや地域の方と交流できるようなスペースの創出を行います。  (2) 「はじまりのコンポストアーキテクト」 - 生ごみからたい肥をつくる「コンポスト」を活用し、たい肥で野菜を育て、食べるというような小さな循環が起きるサーキュラーエリアの形成を目指しています。 - 社会実験当日は、コンポストの体験イベント等を行い、コンポストを知り、身近に感じてもらう機会の創出や、コミュニティづくりを行います。 

内 容	(3) 「ジョブアド in Ozone」 - 中高生を募集し、大曽根エリアの店舗と連携しながら、より魅力的な店舗になるよう主体的に考え、実践することで、参加者のキャリア教育とエリアの活性化を目指すプログラム「ジョブアド」を考案しました。 - 社会実験当日は、学生が約2か月間考えてきたことを、大曽根商店街の2店舗で実践し、店舗や実践した学生の満足度などの検証を行います。  (4) 「大曽根芝映スポット」 - 芝生をひくことで、普段座れない場所に座ることができる、普段と違う目線でまちを見ることができるとは、“映える”スポットになりうるのではないかと。そんな仮説を実証するプロジェクトです。 - 社会実験当日は、商店街のパブリック空間に人工芝をひいたスペースを用意し、訪れた人たちが思い思いの時間を過ごし、写真を撮り、投稿してもらうことで大曽根を認知してもらうキッカケをつくりま  ※各社会実験やPoc up スクール NAGOYA の詳細はHPをご覧ください。  3 運営事務局 株式会社 On-Co ミッションは、関わる人々の主体性を向上させ、挑戦が溢れる面白い世の中をつくること。強みは社会に必要と感じた概念を具現化すること。さかさま不動産や丘漁師組合、上回転研究所、マダナサソウなどのプロジェクトを展開している。  株式会社 On-Co <参考> Poc up(ポックアップ)スクール NAGOYA とは - まちの魅力や課題を踏まえたまちづくり活動を通して、まちをより良くしていくプロセスを体験する実践学習型まちづくり講座です。 - まちづくり活動に必要なノウハウを学び、地域と連携しながら企画検討、社会実験を行います。 - この講座に参加した方が、実際のまちづくりの現場で、継続的にまちに関わり、まちづくり活動の担い手として活躍することを期待しています。
備考	本件は、令和6年10月22日（火）に市政記者クラブへ資料提供しました。

ガジガジ ウォーカブルシティ

歩いて楽しい! クリエイティブな商店街

商店街の賑わいを取り戻したい。憩える空間が欲しい。

そんな地域課題を解決するのが「ウォーカブルシティ」という構想です。

官民のパブリック空間の新たな可能性を示す、1日限りのイベントへぜひお越し下さい!



雨天の場合は11月30日に延期となります。イベントについての詳細情報は左記QRコードよりご確認ください。

2024 **11.10** 土 11:00 ~ 16:00

@大曽根商店街



ガジガジウォーカブルシティとは？

名古屋市では、官民のパブリック空間を居心地が良く歩きたくなる人中心の居場所へと変えていく「ウォーカブルシティ」を目指しています。

ガジガジ・ウォーカブルシティとは、参加することで「ウォーカブルシティ」をふわっと感じれる地域回遊型イベントとなります。

大曽根商店街内の官民のパブリック空間に、飲食やアート、ゲーム、ものづくりなどコンテンツを配置することで商店街を歩いて楽しむことができます。

また今回はPoc upスクールNAGOYAで地域課題に取り組む社会実験プロジェクトも同時に実施しています。不完全ながらも挑戦的でクリエイティブな取り組みを、街を歩きながら楽しんでいただけたら嬉しいです。

CONTENTS

一部の出店者の紹介になります。(コンテンツは変更する可能性があります。)



ART

アーティストがライブペイントを行います。大曽根商店街を見て聞いて感じたことをインスピレーションとして、絵を描きます。



憩いスペース

人工芝や畳、創作家具などを使ってリラックスできる憩いのスペースを作ります。近くの人と話したり交流したり、ご飯を食べたりと自由に使用することが可能です。



体験・ワークショップ

木工、粘土、アスレチック、e-sports、インタラクティブアートなど一緒に手を動かして物を作ったり、作品に参加することができます。



MUSIC

古い電化製品を使って電子楽器を作り演奏したり、DJブースを用意します。DJブースは気軽に誰でも参加可能なオープンブースもあります。



FOOD・DRINK

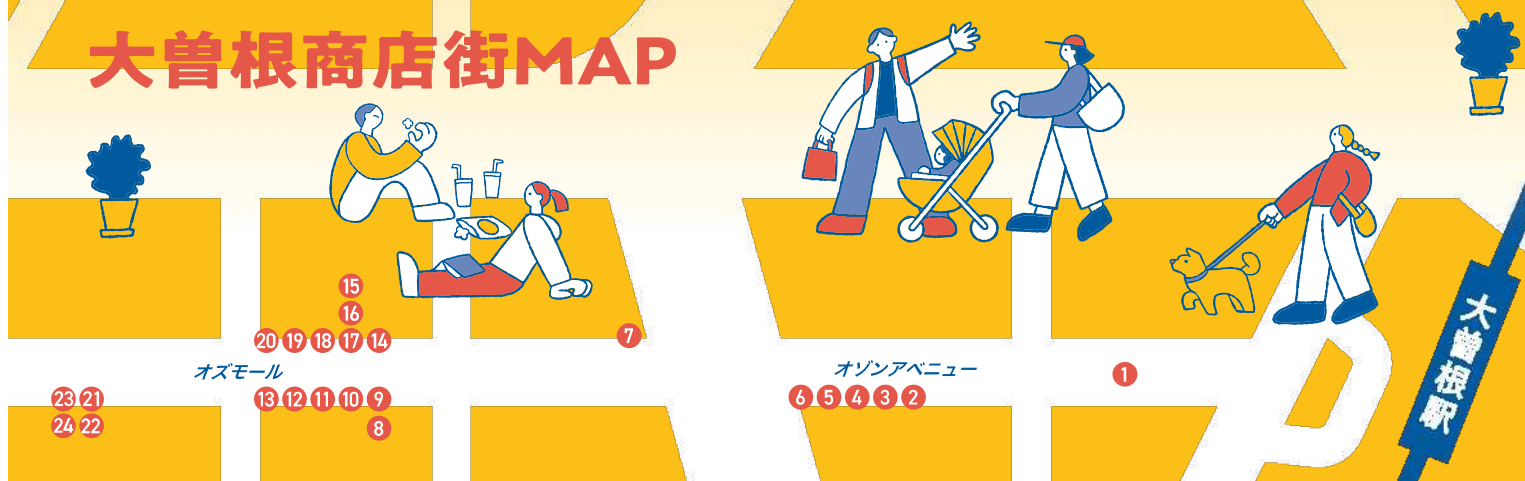
美味しい食べ物や飲み物があります。フレンチシェフがつくる産みたて名古屋コーチン卵を使ったフレンチトーストがおすすめです。



地域体験ツアー

初めて来た人でも大曽根エリアを楽しめるツアーを開催します。角打ち・せんべろなどお酒好きにはたまらないコンテンツが中心となります。

大曽根商店街MAP



※ ●の番号はPoc up スクール NAGOYA の社会実験プロジェクトです。

- | | | | |
|-------------------|------------------|-------------------------|--------------------------|
| ① 運営本部 | ⑦ ドローン教室 (ジョブアド) | ⑬ コンポストアーキテクト | ⑲ アナアシワークショップ |
| ② せんべろ・角打ち飲み歩きツアー | ⑧ 円居 (ジョブアド) | ⑭ 絶叫マシン | ⑳ Minato Amateur DJ Club |
| ③ モバイル畳 | ⑨ poporo ライブペイント | ⑮ 喫茶はじめ (ジョブアド) | ㉑ 名古屋 Orchest-Lab |
| ④ ニワトリ家具 | ⑩ ハナミーの粘土似顔絵 | ⑯ カフェオレベース家具 | ㉒ 芝映スポット |
| ⑤ ストリート e-sports | ⑪ ソーシャルジム | ⑰ Kanban Furniture | ㉓ ミツパチどらやき |
| ⑥ フレンチトースト | ⑫ ブラックボックス | ⑱ Superposition machine | ㉔ 木のミニカーづくり |

「Poc up スクール NAGOYA」活動の流れ

Poc up スクール NAGOYA の参加者は、下記講座にて、地域で持続的にまちづくりを行うための実践的なノウハウを学ぶだけでなく、地域のまちづくり団体とコミュニケーションを取るなど、多い時には週に1回以上、自主的に会議を行い、11月10日の社会実験の準備を行ってきました。

【POCUPスクールの講座】

1. 7/20「プログラム参加者との顔合わせ」「共創講座」



4つのプロジェクトが結成。共創講座では、仲間を見つける必要性や、持続的な活動には、「経済性」と「社会性」がともに重要であることを学びました。



2. 8/3「地域リサーチ」「構造化（ビジネスモデル）講座」



大曽根のまちを歩き、まちの方からお話を聞くことで、大曽根のまちの現状を把握しました。構造化講座では、各プロジェクトの構造を可視化し、社会へ影響を与えることのできる構造を検討しました。



3. 8/17・8/31「PR（パブリックリレーションズ）講座」



PRを単なる情報発信ではなく、パブリックリレーションズ（社会との良好な関係性を築くためのコミュニケーションのプロセス）と捉え、事業を始める段階でのマインドセットや事業設計、ステークホルダーの検討を行うとともに、各プロジェクトでプレスリリースを作成しました。



4. 9/14「行政連携講座」



行政の仕事の進め方や行政連携について学びました。また各プロジェクトで、応募することができるアワードを検討しました。



5. 10/5「地域の方からのフィードバック」「デザイン講座」



地域連携で事業を起こすにはどう仕組みをデザインしていけばよいのかという広義のデザインについて学びました。また地域の方から、各プロジェクトと連携できそうなことを、アドバイスをいただきました。



6. 11/10「社会実験」と11/23「反省会」

今回の11月10日(日)の社会実験で検証したことを踏まえ、持続的に活動していくための方策を考えます。

事項	市役所周辺賑わい創出イベント「三の丸チャレンジ」の開催について														
内 容	庁舎の閉庁時は閑散としている名古屋城三の丸地区ですが、当地区に新たな賑わいや地区内外の回遊性の創出にチャレンジするとともに、現在検討している「名古屋城三の丸地区まちづくり構想」の策定に向けた機運醸成を目的とするイベントを実施します。 1 日時 令和6年11月2日（土）、3日（日）の2日間 10時から16時まで 2 実施場所 (1) 市役所本庁舎駐車場 (2) 市道公館東西第1号線（愛知県庁西庁舎南側道路） ※（1）は11月2日、3日の2日間 （2）は11月3日のみ（雨天中止） 3 社会実験の概要 <table><tr><th>主な内容</th><th>概要</th><th>実施場所</th></tr><tr><td>① ストリートピアノ</td><td>市役所本庁舎（重要文化財）の前で、自由に弾いていただけます。また、演奏者（ピアニスト 稲島早織さん）によるパフォーマンスも予定しております。</td><td>(1)</td></tr><tr><td>②ワークショップ ～みらい楽器ラボ～</td><td>日用品楽器ユニット「kajii」として活躍されている創（そう）さんが、ペットボトルや空き缶など廃品から制作された新たな音色を持つ楽器の演奏を予定しております。来場者も楽器を演奏することができます。</td><td>(1)</td></tr><tr><td>③メディ屋台</td><td>メディ屋台とは、当地区内で現在建設が進む国の名古屋第4地方合同庁舎の広場空間の利活用を検討する一環で、事業者と名古屋学芸大学が連携して、学生が制作した「人とのつながりを生み出すメディア（媒体）としての屋台」のことです。学生の視点で、人とのつながりを生み出すユニークなアイデア満載の内容となっております。</td><td>(2)</td></tr></table> （注）上記以外にも、人工芝による憩い空間、キッチンカーや観葉植物の販売なども予定しております。 			主な内容	概要	実施場所	① ストリートピアノ	市役所本庁舎（重要文化財）の前で、自由に弾いていただけます。また、演奏者（ピアニスト 稲島早織さん）によるパフォーマンスも予定しております。	(1)	②ワークショップ ～みらい楽器ラボ～	日用品楽器ユニット「kajii」として活躍されている創（そう）さんが、ペットボトルや空き缶など廃品から制作された新たな音色を持つ楽器の演奏を予定しております。来場者も楽器を演奏することができます。	(1)	③メディ屋台	メディ屋台とは、当地区内で現在建設が進む国の名古屋第4地方合同庁舎の広場空間の利活用を検討する一環で、事業者と名古屋学芸大学が連携して、学生が制作した「人とのつながりを生み出すメディア（媒体）としての屋台」のことです。学生の視点で、人とのつながりを生み出すユニークなアイデア満載の内容となっております。	(2)
	主な内容	概要	実施場所												
	① ストリートピアノ	市役所本庁舎（重要文化財）の前で、自由に弾いていただけます。また、演奏者（ピアニスト 稲島早織さん）によるパフォーマンスも予定しております。	(1)												
	②ワークショップ ～みらい楽器ラボ～	日用品楽器ユニット「kajii」として活躍されている創（そう）さんが、ペットボトルや空き缶など廃品から制作された新たな音色を持つ楽器の演奏を予定しております。来場者も楽器を演奏することができます。	(1)												
	③メディ屋台	メディ屋台とは、当地区内で現在建設が進む国の名古屋第4地方合同庁舎の広場空間の利活用を検討する一環で、事業者と名古屋学芸大学が連携して、学生が制作した「人とのつながりを生み出すメディア（媒体）としての屋台」のことです。学生の視点で、人とのつながりを生み出すユニークなアイデア満載の内容となっております。	(2)												
備考	本件は、本日、市政記者クラブへ資料提供します。														

市役所周辺賑わい創出イベント

三の丸 San-no-maru Challenge チャレンジ

in 名古屋市役所本庁舎周辺

開催日時

11月 2日 3日
Sat. Sun.

両日とも 10:00-16:00



芝生の上で
くつろげます

ワークショップ
「みらい楽器ラボ」

会場① 2日のみ開催

楽しい「体験型講座」を開催。
だれでもお気軽にご参加いただけます。

※先着50名様程度になります。



時間 1回目 11:00~11:50
2回目 14:00~14:50

ストリートピアノ

会場① 両日開催

市役所本庁舎前にストリートピアノを設置！
ご自由にお弾きいただけます。



演奏者によるミニステージ

演奏時間 1回目 10:00~10:30
2回目 13:00~13:30

キッチンカーも出店します

3日は植物の
販売もあります



2日(土) ▶ 会場①で開催
3日(日) ▶ 会場①と②で開催



11月2日(土)は「歩こう!文化のみち」の市役所
本庁舎一般公開は行いませんので、ご承知おき
ください。
ご来場は公共交通機関をご利用ください。

メディ屋台

会場② 3日のみ開催(雨天中止)

名古屋学芸大学の学生が制作した
「つながりを生み出す屋台」
ユニークなアイデア満載です!



@sannomaru_758

詳しい情報は
こちらから



事項	第12回木曽三川流域連携シンポジウムの開催について
内容	1 趣 旨 名古屋市の水道は、水源である木曽川の豊かできれいな水の恩恵を受けています。木曽三川流域の水環境は、上中流域の人々の活動に大きく依存しますが、これらの地域では、過疎化や農林業の衰退などさまざまな課題を抱えており、流域の自治体が一体となって水環境保全に取り組み、将来にわたり木曽三川流域の水環境を守るため、平成23年に名古屋市上下水道局が事務局となり「木曽三川流域自治体連携会議」を設立しました。 木曽三川流域連携シンポジウムは、木曽三川流域自治体連携会議主催のもと、流域住民の水環境保全に対する意識醸成につなげることを目的として、毎年開催しています。 今年度は、気候変動が木曽三川流域の生活に与える影響について考える機会として、環境省中部地方環境事務所協力のもと、気候変動と流域の魅力発信をテーマに開催します。 2 第12回木曽三川流域連携シンポジウム テーマ 「気候変動で地域の食が変わる！？ ～木曽三川流域がもたらす地域の魅力と将来への備え～」 3 開催日時・場所 日時：令和6年12月18日（水）13時30分～16時00分 場所：中区役所ホール 4 主催 木曽三川流域自治体連携会議（事務局：名古屋市上下水道局） （協力）環境省中部地方環境事務所 5 プログラム （1）木曽三川流域自治体連携会議の取組紹介 （2）基調講演 【講演者】 巽 好幸氏（神戸大学名誉教授、ジオリブ研究所所長） （3）パネルディスカッション 【コーディネーター】 畑中 直樹氏（大阪大学大学院工学研究科招聘教員） 【パネリスト】 巽 好幸氏（神戸大学名誉教授、ジオリブ研究所所長） 原田 守啓氏（岐阜大学環境社会共生体研究センター副センター長・教授） 竹脇 恵美氏（NPO 法人ふるさと交流木曽ふるさと体験木曽おもちゃ美術館館長） （4）流域特産品抽選会 6 その他 ・参加者を木曽三川流域自治体連携会議ウェブサイトの申込フォームまたは往復はがきにて募集 ・募集期間は10月25日（金）から11月22日（金）

(参考) 木曽三川流域自治体連携会議について

平成 22 年 10 月に名古屋市で開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) を機に、水でつながる流域の自治体が、人の和をもって連携・協働し、水の環を健全に守っていくことを流域自治体宣言として発信し、翌平成 23 年、「水でつながる命」をテーマに、「木曽三川流域自治体連携会議」(事務局：名古屋市上下水道局) を設立しました。

連携会議では、木曽三川(木曽川、揖斐川、長良川)流域の水環境を守るため、流域自治体相互の連携を強化するとともに、官民協働による持続可能な地域経済の振興を進め、住民参加・交流による水環境保全への理解を深めていくためのさまざまな流域連携事業に取り組んでいます。

連携会議のテーマは、『水でつなぐ命 ～命をつなぐ連携～』。健全な水循環を将来に繋げていくため、流域自治体が連携を強化し、より主体的に水環境保全に関わっていくとともに、流域治水など防災・減災について情報の共有と発信を積極的に行っています。



木曽三川流域自治体連携会議 構成自治体 (4 県下 45 自治体 令和 6 年 4 月現在)

愛西市、上松町、あま市、池田町、一宮市、稲沢市、犬山市、揖斐川町、恵那市、王滝村、大桑村、大治町、海津市、笠松町、蟹江町、可児市、川辺町、木曽広域連合、木曽岬町、木曽町、木祖村、北名古屋市、清須市、郡上市、桑名市、下呂市、江南市、坂祝町、白川町、津島市、飛島村、富加町、中津川市、南木曽町、名古屋市、羽島市、東白川村、七宗町、扶桑町、瑞浪市、御嵩町、美濃加茂市、八百津町、弥富市、輪之内町 (以上五十音順)

備考 本件は、10 月 25 日に市政記者クラブに資料提供しました。

第12回 木曽三川流域連携シンポジウム

気候変動で地域の食が変わる!?

～木曽三川流域がもたらす地域の魅力と将来への備え～

気候変動が私たちの生活にどのように影響するのか また、その変化へ備えることができるのか
水との関わりを通して一緒に考えてみませんか？

2024.12.18(水)

13:30～16:00(12:30開場)

中区役所ホール

参加費
無料

事前申込が必要です
詳細は裏面をご覧ください

申込期限

2024.11.22(金)

定員
抽選

300名

基調講演

「美食地質学に基づく
木曽三川流域(中京圏)の食のオンリーワン性」
巽 好幸 氏

パネルディスカッション

コーディネーター:

畑中 直樹 氏

パネリスト:

巽 好幸 氏

原田 守啓 氏

竹脇 恵美 氏

※出演者プロフィールは裏面をご覧ください。

抽選会

木曽三川流域の特産品が当たる抽選会

木曽三川(木曽川、長良川、揖斐川)流域の
魅力を伝えるイベントです！
みなさまのご参加お待ちしております♪



かわたん
木曽三川流域自治体連携会議の
マスコットキャラクター

主催:木曽三川流域自治体連携会議 協力:環境省中部地方環境事務所

写真:木曽三川流域フォトコンテスト応募作品「パズルの茶園」(岐阜県揖斐川町) / 「アユ釣りの解禁日」(岐阜県中津川市)



講師・パネリスト紹介

たつみ よしゆき

巽 好幸氏 神戸大学名誉教授、ジオリブ研究所所長

1983年、東京大学大学院理学系研究科(地質学)博士課程修了後、京都大学総合人間学部教授、東京大学海洋研究所教授などを経て2021年4月から現職。水惑星地球の進化や超大噴火のメカニズムを「マグマ学」の視点で考えている。主な一般向け著書に『『美食地質学』入門-和食と日本列島の素敵な関係』(光文社新書)等。テレビ番組『列島誕生 ジオ・ジャパン』『情熱大陸』(NHK)などに出演。



はらだ もりひろ

原田 守啓氏 岐阜大学環境社会共生体研究センター副センター長・教授

建設コンサルタント技術者、国研究機関の専門研究員を経て2014年12月より岐阜大学准教授。2024年10月より現職。専門は河川工学。2020年より岐阜県気候変動適応センターの実施責任者を務める。気象・森林・水循環・農業・生態系など、幅広い分野の研究者・実務者と協力しながら、気候変動や人口減少に適応した持続可能な流域圏の実現を目指した各種プロジェクトに取り組んでいる。



たけわき えみ

竹脇 恵美氏 NPO法人ふるさと交流木曾ふるさと体験木曾おもちゃ美術館館長

神奈川県横浜市出身。1987年御嶽山の麓、長野県木曾郡開田村(現木曾町開田高原)に夫婦で移住。4人の子育てをしながら児童文庫等でボランティア活動をする。2001年より地元の社会福祉協議会でボランティアコーディネーター、2018年より(公財)長野県長寿社会開発センター木曾支部でシニア活動推進コーディネーターを経て、2022年に開館した「ふるさと体験木曾おもちゃ美術館」の館長に就任。



コーディネーター紹介

はたなか なおき

畑中 直樹氏 大阪大学大学院工学研究科招聘教員(環境・エネルギー専攻)

博士(環境科学)。大阪大学環境工学科卒。(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター元客員研究員、ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)代表理事、総務省地域力創造アドバイザー等行政の各種委員等を務める。サステナビリティ、人材育成に取り組むかわら、気候変動適応や自然再生、森林・木材関係のNPO等の役員としても取り組んでいる。



プログラム

12:30 開場

13:30 開会挨拶

13:35~13:50 取組紹介
(木曾三川流域自治体連携会議)

13:50~14:35 基調講演

14:50~15:20 活動紹介(パネリスト)

15:20~15:45 パネルディスカッション
「木曾三川流域における
ヒト・モノの循環のこれから」

15:45~15:55 抽選会

16:00 閉会

※都合によりプログラム内容が変更になる場合がございます。



会場

中区役所ホール(中区役所地下)



〒460-8447 名古屋市中区栄四丁目1番8号

●地下鉄栄駅12番出口より東へ1分

※ホールへは、地下1階よりお入りください。

※会場は駐車場がございません。公共交通機関でお越しください。



申込方法 (インターネットまたは往復はがき)

インターネット(11月22日締切)

木曾三川流域自治体連携会議ウェブサイトから、所定の申込フォームにてお申し込みください。

<https://www.water.city.nagoya.jp/kisosansen/category/topics/161575.html>



往復はがき(11月22日必着)

往復はがきに、①~③をご記入の上、下記の問合せ先まで郵送してください。

- ①代表者の氏名、年齢、住所、電話番号
- ②参加希望人数
- ③同伴者全員の氏名、年齢

※申込者多数の場合、抽選となります。

※手話通訳・要約筆記を実施します。その他、車いすなど個別の配慮をご希望の場合、申込時または別途お知らせください。

※当選者には12月上旬頃までに、メールまたははがきにてお知らせします。

※お送りいただいた個人情報は適切に取り扱い、本シンポジウムを実施するために必要な範囲で使用させていただき、その他の目的では使用しません。



お問合せ

木曾三川流域自治体連携会議 事務局

名古屋市上下水道局 連携推進課

TEL 052-972-3720 FAX 052-961-0276

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

公式ウェブサイト <http://www.water.city.nagoya.jp/kisosansen/>



木曾三川流域自治体連携会議

検索

